

日 時：2008年10月11日（土）～13日（月）
場 所：関西大学 高槻キャンパス

地区青少年活動委員会

委員長 **井上 嗣仁**
(大阪中央RC)

「かかわり学びの実践学」（人と社会とビジネスと）をテーマに、大阪なにわRCのホストにより、関西大学とのタイアップで開催しました。

初級ライラにはRC推薦者60名、関大生70名の130名という、今までにない多数の参加者を迎え、又 上級ライラには5名を迎え2泊3日の短いながら大自然の摂津峡をベースに、国際交流、文化交流を交えてすばらしい秋のライラを実施できました。初めての大学との共同開催であり、又、初めての場所でありましたが、河野会長・餅野実行委員長始め、関大の先生方、大阪なにわRCの会員の皆様の準備のお蔭で開催する事ができました。

基調講演には、谷井等様より“ベンチャー企業から見た今日の日本の姿”というテーマでお話をして頂きました。参加者達と年齢も近く、これからの人生によ

い勉強になったのではとっております。

2日目、摂津峡にてグループごとに自然探索ツアーを実施し、自然との触れ合いをして頂きました。チームワークの大切さを学んで頂いたのではと思います。3日目は元米山奨学生、田川珊珊さんに“ロータリー奨学生から社会へ”というテーマで講演を頂きました。

最後は皆さんがこの3日間で学んだこと、体験したことをパフォーマンスで発表して頂きました。

今回もここで会うのが初めての人ばかりなのでコミュニケーションを図るには自分の心を開く、そしてグループ行動はチームワークを知る為の研修でありリーダーシップを養成する研修であったと思います。又、仲間の作り方も自然に学んだ訳です。

この研修を通じて自主性や自己責任の



重さを自覚し、自分の将来を切り開くのは自分自身の努力、責任にある事を学んだと思います。この経験を活かし、実社会で青少年達のリーダーとして活躍して頂きたいと思っています。

閉会式では充実した表情が柔らかくすごく良い顔になられた受講生を前に、大谷GEのご挨拶で閉会いたしました。

最後に423名の登録を頂いたロータリアン、大阪なにわRCの皆様、関大の先生方、そしてチームライラの諸君のお陰で、この様なすばらしい秋のライラを実行できた事、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

